



R7.04.07

初生小学校 学校だよりNo.1

夢と知恵をもち 共に生きる子

～ さあ、やってみよう！ ～



－令和7年度の教育活動がスタートします！－

春の暖かい日差しが心地よい季節になりました。爽やかな春風とともに、小鳥のさえずりが聞こえてきます。子供たちの明るく元気な声が、初生小学校に戻ってきました。

いよいよ令和7年度の教育活動がスタートします。今日の始業式では、子供たちのキラキラと輝いた表情をたくさん見ることができました。子供たちの純粋で真っ直ぐな眼差しから、新しい学年に対する希望に満ちた想いがひしひしと伝わってきました。

さて、時代は今、急速に変化し続けています。予測困難な時代の中、子供たちは生きていかなくてもなりません。初生小学校の子供たちには、社会の変化に受け身で対応するのではなく、何事にも主体的に向き合い、協働的に関わり合いながら、自分らしさを大切に、幸せな人生を歩んでいくことができる力を身に付けてほしいと願います。

そこで、本年度の学校教育目標を『夢と知恵をもち 共に生きる子』としました。学校教育目標は、このような子供に育ててほしいと願う姿です。ですから、子供は勿論のこと、初生小学校の教育活動に携わる全ての人（学校・家庭・地域）が、その意味や価値を共有し、子供自身が「そのような姿になりたい！」と、教師や保護者、地域の方が「そのような子供を育てたい！」と感じながら、日々の教育活動に取り組むことが、子供たちの大きな成長に繋がるものと考えます。



『夢と知恵をもつ』とは？

夢とは、子供にとっていつか叶えたい大きな目標。そして、子供自ら「夢（大きな目標）」を叶えるためには、目の前の小さな目標、すなわちその時々「になりたい自分」を積み重ねていくことや、将来にわたって自分を支えていく『知恵（生きて働く知識・使える知識）』を獲得していくことが大切だと考えます。

子供たちの主体性を大切に『さあ、やってみよう！』を合言葉として、子供たち一人一人が「になりたい自分」を目指し、知恵を活用しながら、様々なことに挑戦することができる教育活動を推進していきます。



『共に生きる』とは？

学校は、同年齢・異年齢の子供たちが関わり合い、学び合うことで、一人一人の良さが発揮されたり、学びを深めたりすることができる場所です。様々な人たちとの活動を通して、互いを受け入れ、尊重し合う温かな心を育んでいくとともに、子供たちの協働性を大切にしながら「魅力ある楽しい初生小学校」を子供と共に創り上げていきます。

初生小学校職員一同、愛情と情熱を持ち続け、個々の専門性を生かしながら、子供たち一人一人に寄り添い、大切に育てていきます。本年度も本校の教育活動に対する御理解と御協力をよろしくお願いします。

